

## オオヨシキリ

ウグイスに形や色が似ている鳥です。ウグイスより、少し大型です。

夏になると東南アジアなどから日本に渡ってくる夏鳥で、全国で繁殖しています。川や湖沼の岸に生えているヨシの草原に生息します。ヨシの茎から茎に移動しながら、昆虫を捕らえて食べます。

オスは、ヨシの茎のてっぺんや低木の梢（こずえ）でさかんに、「ギョギョシ、ギョギョシ…」と大きな声でさえざり、縄張りを宣言しメスを引き寄せます。時には、夜間に鳴くこともあります。

テレビや映画などで、岸辺の情景の効果音として、オオヨシキリの「ギョギョシ」の声が使われることが度々あります。巣は、数本のアシの茎を心棒として、細長い葉や茎を主材料にコップ形に作られます。



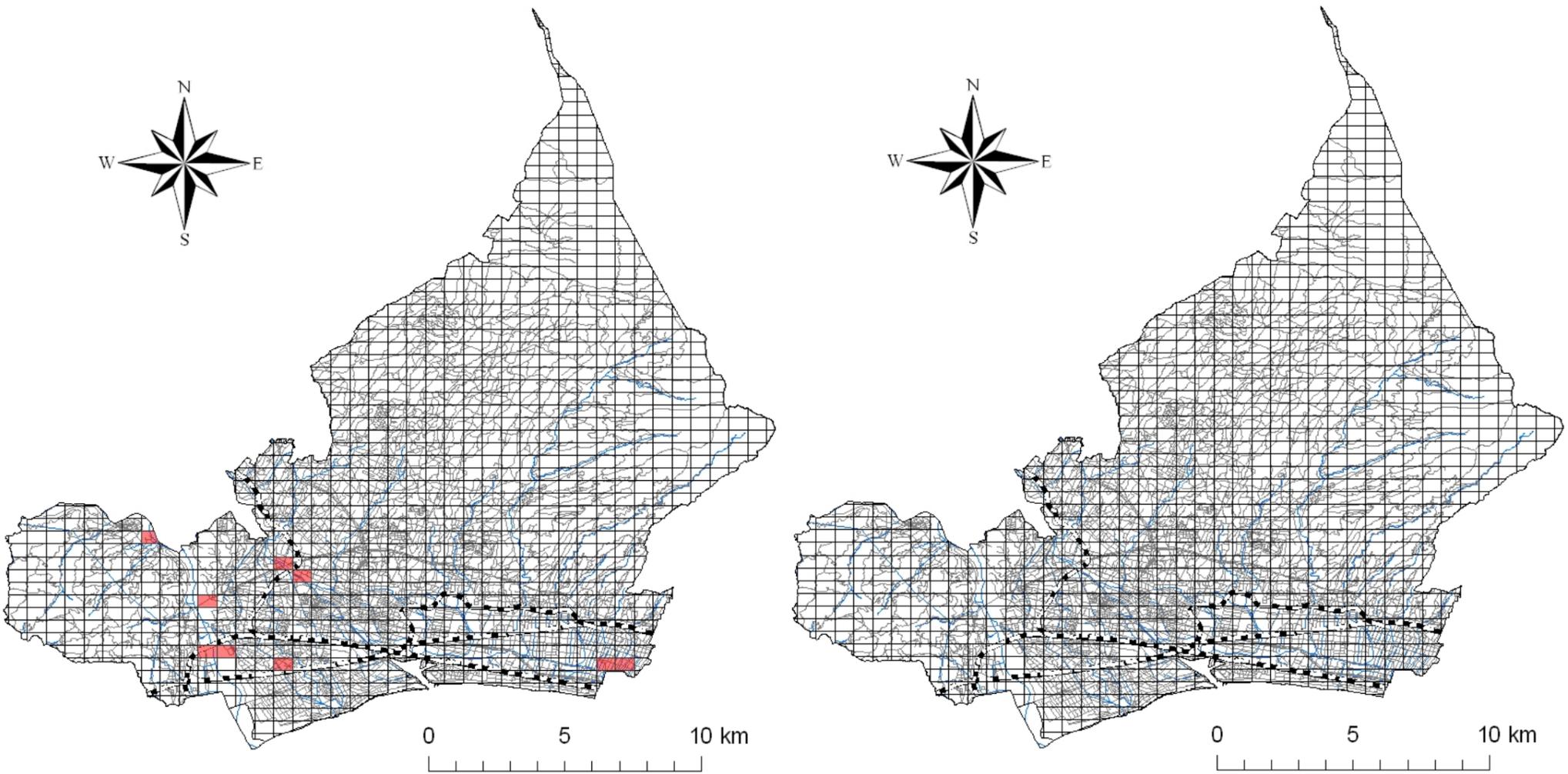
### 富士市の現状

浮島の水田地帯や富士川河口のヨシ原に生息しています。浮島では、水田の区画整備や用水路の整備が進み、年々湿地帯が減少しています。それにとまってヨシ原も減ってきています。オオヨシキリは、ヨシ原で生活するため、極端に数を減らしています。

### オオヨシキリを確認したメッシュ

夏

冬



※ 平成18年より調査しているため、日本測地系の2分の1標準地域メッシュを使用しています。